



遠心式加湿器

D-3001

取扱説明書

- このたびは、遠心式加湿器D-3001をお求めいただき、ありがとうございました。
- この取扱説明書は、加湿器に関するご使用上の注意事項が記載されております。
- D-3001の機能を十分に発揮させ効果的にお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み下さい。
- お読みになった後は、大切に保管して下さい。加湿器の調子がおかしくなったとき、またはわからないことがあったときのお役に立ちます。
- 不衛生な状態で使用されますと、病原菌が繁殖して健康被害をもたらす可能性があります。定期的に清掃・消毒を実施して下さい。保守点検についてのお問い合わせは、購入先または裏面記載の営業所までご連絡をお願いします。お客様自身でメンテナンスをされる場合は当取扱説明書をよくお読み下さい。



概 要	3
仕 様	3
外 形 図	4
設 置	4
保 守	8
関 連 部 品	8
部品展開図	9

○＜取付及び取扱＞は、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ確実に行って下さい。

○ここに示した注意事項は  警告  注意 に区分していますが、誤った取付をした時に、死亡や重症等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを、特に  警告 の欄にまとめて記載しています。しかし  注意 の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。

警告

- ◆メンテナンスをする時は必ず運転を停止して、電源を切して下さい。電源を切らないでメンテナンスをすると、怪我や感電の原因となります。
- ◆コンセントにアース線を取付けて下さい（D接地工事）。アース線が不完全の場合には感電などの原因になることがあります。
- ◆電源ヒューズの代わりに針金などを使用しないで下さい。万一ヒューズが切れたときは、必ず正しいアンペアの電源ヒューズと交換して下さい。針金や銅線など使うことは、絶対に避けて下さい。
- ◆電気接続部を濡らさないで下さい。漏電や絶縁不良、故障などの原因になります。
- ◆改修、改造は絶対にしないで下さい。また、修理は、お買い上げの販売店にご相談下さい。修理に不備があると、水漏れや感電、火災の原因となります。
- ◆定期的に清掃・消毒を実施して下さい。不衛生な状態でのご使用によってレジオネラ菌、大腸菌、およびウイルスの繁殖により健康被害をもたらす可能性があります。また貯水槽の送水管など給水源の衛生管理もお願いします。

注意

- ◆運転したまま移動しないで下さい。運転中の移動は機械に無理がかかり故障のもとになりますので、おやめ下さい。
- ◆動かす前に水槽の水を捨てて下さい。そのまま動かしますと、水がこぼれて電気絶縁を悪くしたり、床を濡らします。
- ◆運搬する場合は、電源プラグを抜いてから静かに行って下さい。
- ◆電源プラグの抜き差しによる運転はおやめ下さい。感電したり、過熱の元になることがあります。
- ◆停電になった時は電源スイッチをお切り下さい。運転中に停電になり、電源スイッチをそのままにしておきますと、次に電気が来た時に各種電気製品が同時に始動し、大きな電流が流れ、ブレーカーが動作したり、電源ヒューズが切れることがあります。
- ◆差込プラグの抜き差しは、コードを引っ張らず、必ず差込プラグを持って抜き差しして下さい。
- ◆吸込口および吹出口はふさがらないで下さい。吸込口や吹出口がふさがれていると、加湿の効果が下がります。

◆吹出口に手や物などを入れないで下さい。吹出口に手や物などを入れると内部の送風機などに触れて大変危険です。

◆次のようなときは、D-3001を屋外に移すか、あるいはポリ袋などで厳重に保護して下さい。

- ・大掃除などでほこりがひどいとき
- ・消毒殺菌を行うとき
- ・その他製品に悪影響を及ぼすと思われるとき

◆窓や扉などを開けっ放しにすると、加湿された空気が外に逃げてしまいますのでご注意下さい。また外の空気が多く流れ込みますと、室内の空気清浄及び加湿の効果が低くなります。また部屋の扉の開閉は、出来るだけ少なくして下さい。

◆定期的に分解、掃除をして下さい。加湿器内部が汚れますと加湿効果が低下します。

◆長時間運転停止するときは、差し込みプラグをコンセントから抜き給水タンクおよび水槽の水を捨てて下さい。水をいつまでも入れたままにしておきますと水が汚れるばかりではなく細菌が繁殖する原因にもなります。

◆48時間以上の加湿器を停止した場合は、分解清掃を実施して下さい。水を入れたままにしておきますと水の汚ればかりではなく細菌が繁殖する原因にもなります。

◆給水には水道法に規定された水質基準に準ずる、20℃以下の飲料水をご使用下さい。

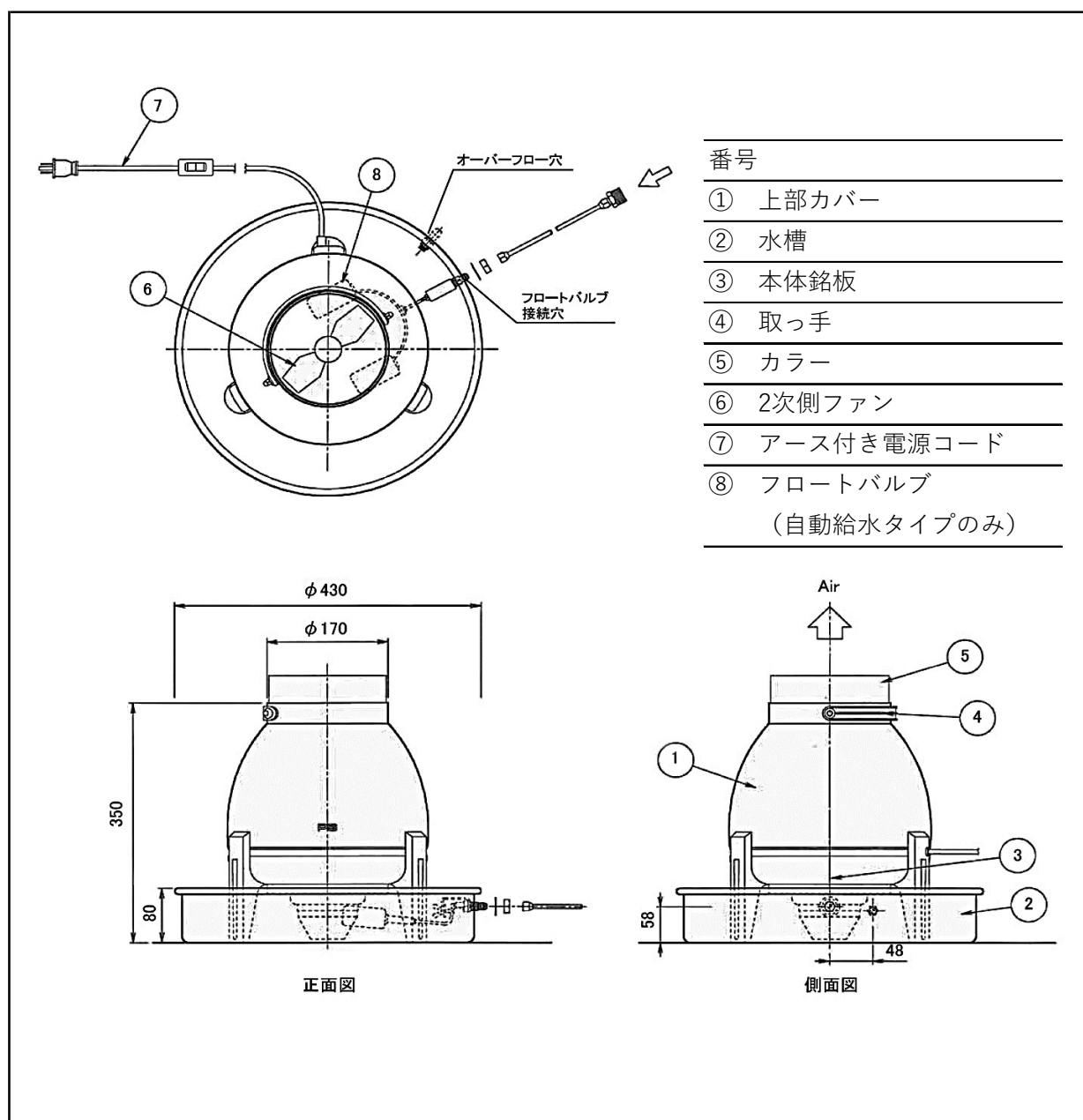
■概要

D-3001は床置型に設計された遠心式加湿器で、霧は上方に噴霧されます。移動可能なポータブル型で、重量はわずか7kgであり、標準ユニットは6Lの水槽付です。自動給水タイプと手動給水タイプがあり、自動給水タイプに湿度調節器を組み合わせれば完全自動運転が可能です。

■仕様

型式	D-3001
加湿量	3.0/4.0 L/h
定格電源	100V 50/60Hz
消費電力	75/125W
貯水量	6.0L
給水圧力	0.03~0.5MPa (0.3~5.0kg/cm ²) (自動給水タイプの場合)
空重量	7.0kg
外形寸法	φ 430 H350mm
風量	280m ³ /h
周囲温湿度	5~35℃ ~85%RH

■外形図



■設置

1. 配置

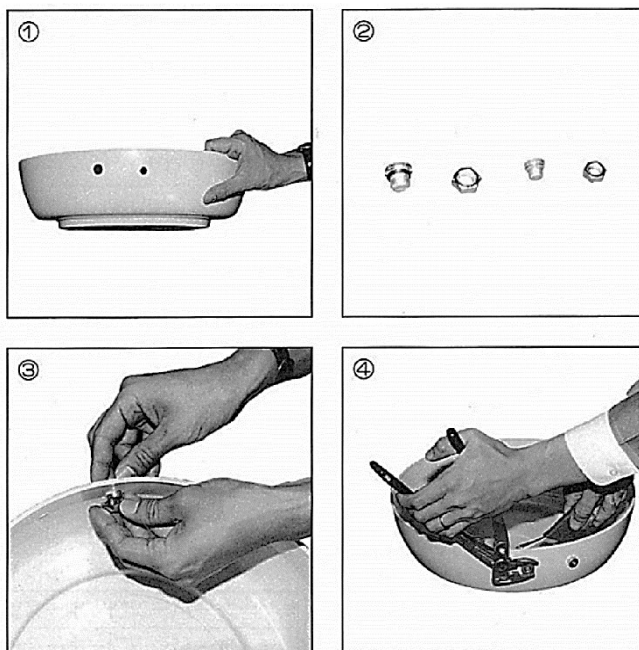
D-3001は床の上、または棚の上など安定した場所において使用して下さい。

加湿器本体の周囲2～4m、上方2mまで湿度が高くなりますのでスペースを確保して下さい。

2. 付属品の設置

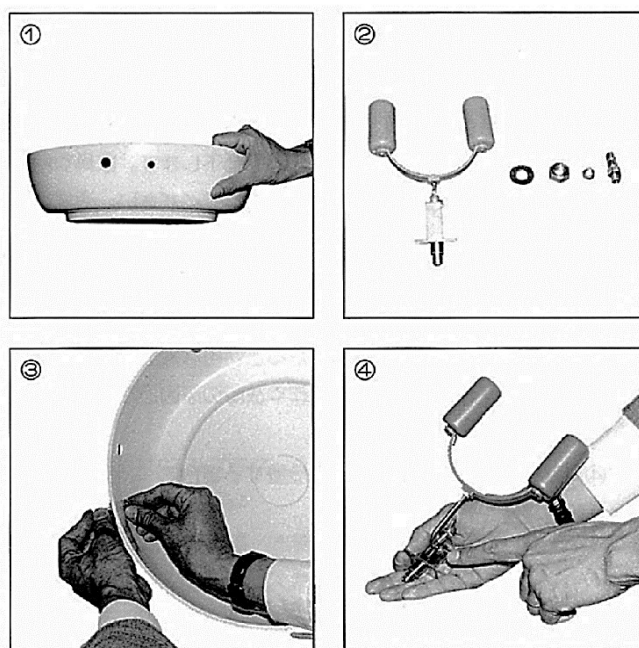
手動給水タイプ

- ①水槽の横に2つの穴が開いていることを確認します。(写真の水槽とは形状が異なります。)
- ②左から閉止プラグ(大)、ナット(大)、閉止プラグ(小)、ナット(小)です。
- ③水槽に開いている2つの穴に閉止プラグを取付け、ナットで固定します。大きい穴に閉止プラグ(大)とナット(大)を、小さい方の穴に閉止プラグ(小)とナット(小)を取付けます。
- ④モンキースパナとプライヤーで固定して下さい。締め方が緩いと水漏れの原因となります。



自動給水タイプ

- ①水槽の横に2つの穴が開いていることを確認します。(写真の水槽とは形状が異なります。)
- ②左から、フロートバルブ、ストップピン用ワッシャー、ストップピン用ナット、オーバーフローホース継手用ナット、オーバーフローホース継手です。
- ③水槽に開いている小さな穴にオーバーフローホース継手を差し込んでオーバーフローホース継手用ナットで固定します。
- ④フロートバルブのゴムの切れ目が下向きになっているのを確認します。



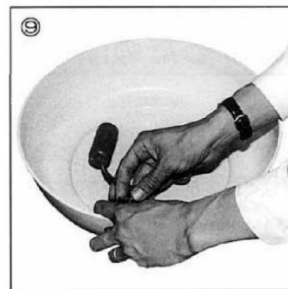
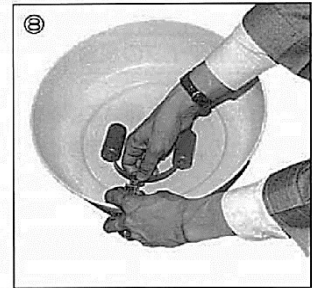
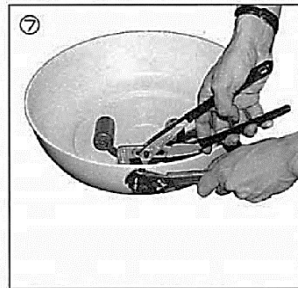
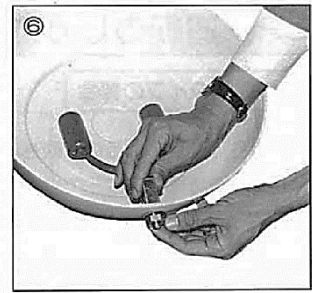
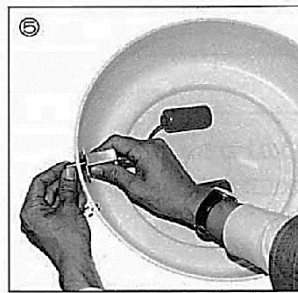
⑤向きが変わらないよう注意しながら、大きな穴の方に差し込みます。

⑥ストップピン用ワッシャーを入れ、ストップピン用ナットで固定します。

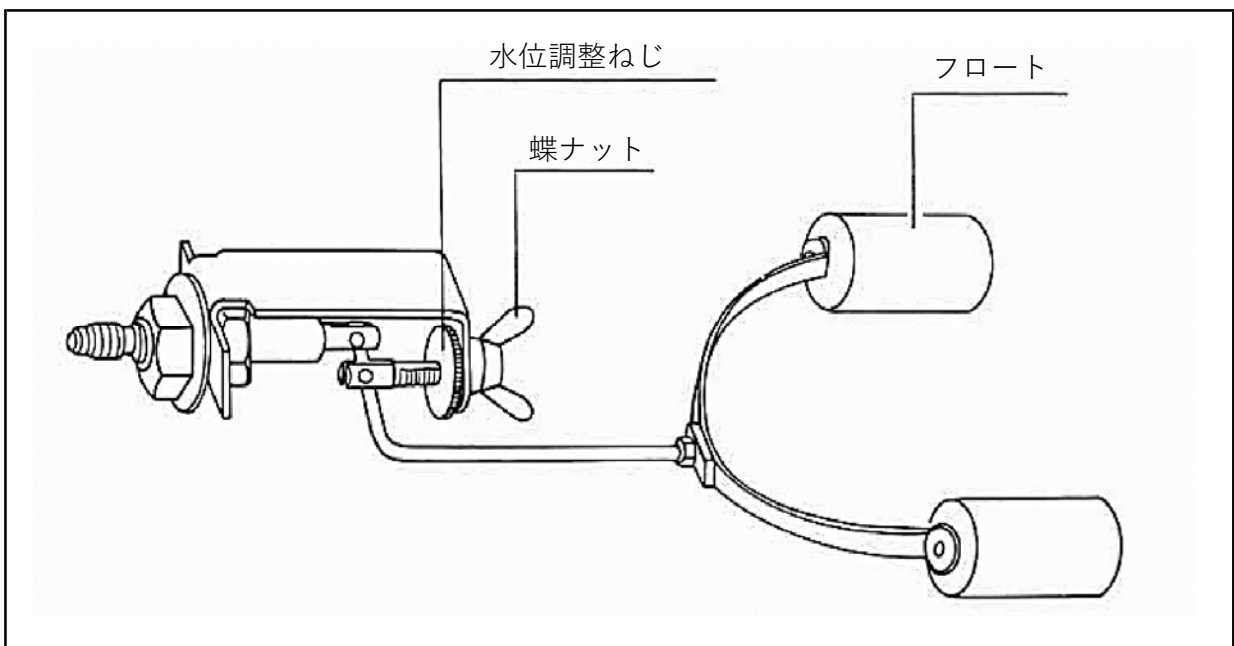
⑦モンキースパナとプライヤーで、しっかり固定して下さい。締め方が緩いと水漏れの原因となります。

⑧フロートを持ち上げて、水槽の底面と水平になるように調節します。

⑨水位調整ネジを左右に回し、蝶ナットで締め付けて、フロートの高さを調節します。



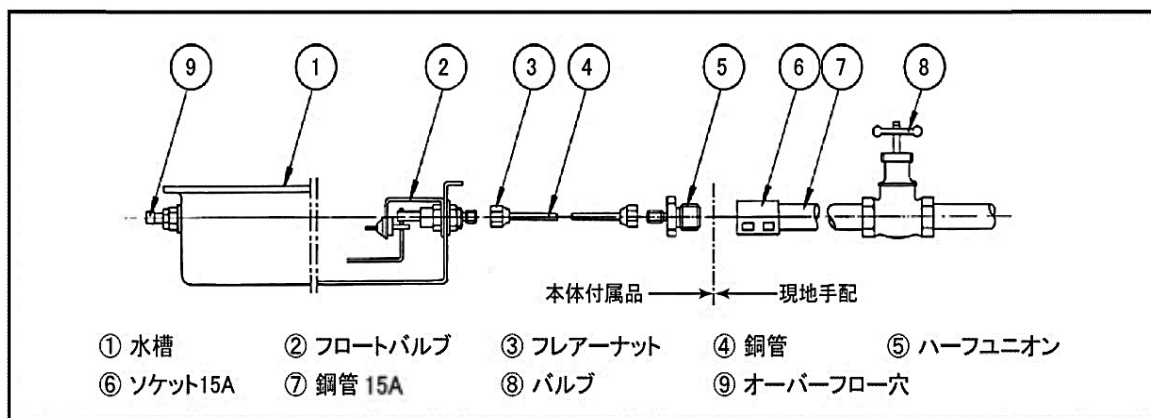
フロートバルブ各部名称



3. 配管フロート動作の確認(自動給水タイプのみ)

自動給水タイプの場合、給水圧の許容値は0.03~0.5MPa(0.3~5.0kg/cm²)です。加湿器本体から付属の接続配管を介して配管します。現地配管は15Aで行ってください。

給水配管(自動給水)



給水配管接続完了後バルブを開き、フロートの動作を確認します。水が一定水位に達するとフロートバルブが閉じて給水が止まります。水槽の赤い上位線以上になると霧の噴霧に支障をきたしますので、水位が高すぎたり低すぎたりする場合はフロートバルブを調整して下さい。

4. 自動給水用フロートバルブの調整

自動給水用フロートバルブは出荷時に水位調整されていますが、現場にて再度調整する場合は下記要領にて行なって下さい。

- | | |
|--------------|---|
| 1. 水位を高くする場合 | 蝶ナットを緩め、水位調整ネジを水槽外側方向へ移動させて調整し、蝶ナットで固定する。 |
| 2. 水位を低くする場合 | 蝶ナットを緩め、水位調整ネジを水槽中心方向へ移動させて調整し、蝶ナットで固定する。 |

設定水位が高すぎると早期故障の原因になりますのでご注意ください。水位が低すぎると加湿量の減少にもなります。(注)自動給水の場合、万一の水漏れに備えてドレンパン、漏水検知器などを設置して下さい。

5. 電気接続と制御

電源に100V(50Hzまたは60Hz)を供給して下さい。

湿度調節器を使用する場合は、2A/100V以上の接点容量を持ったものを使用して下さい。（次ページの湿度調節器をオプションでご用意しています。）

■保守

1. 日常の手入れ

加湿器本体下部のストレーナー取付枠を固定している3個のネジを外し、吸水管、ストレーナ等をブラシできれいに水洗いして下さい。3本の脚の外側にある3つのビスを外せば上部カバーが取外せますので、回転盤、エミリネーターなど内部をきれいに水洗いして下さい。汚れがひどい場合は中性洗剤を使って下さい洗浄後約15分程度自然乾燥させ更に15分程度空運転して乾かして下さい。

周辺の空気や本体の汚れ具合に応じて、1~2週間ごとに清掃して下さい。

注) モーターカバーは開かないで下さい。機械油などを差す必要はありません。シンナーやワイヤーブラシは故障の原因となりますので使用しないで下さい。

2. 長期間使用しない場合

水槽内の水を捨て、水槽と本体を完全に乾燥させて下さい。濡れたまま放置すると汚れ、悪臭、故障の原因となります。

3. 正常に動作しない場合

1 フロートバルブが閉じない

水が水位線に達しても給水が止まらない場合は、フロートバルブの動作が異常です。フロートバルブを掃除して給水し、正常な水位に調整して下さい。

2 モーターが始動しない

モーターは過負荷の場合は始動しません。電源を切り、供給電圧、水位、不純物の付着などを点検し整備して下さい。

3 霧が出ない

下部ストレーナー及び吸水管にゴミが詰まっていたり、カラーが規定の位置より下がりにすぎているか確認して下さい。

上記を確認しても正常に動作しない場合は、当社までご連絡下さい。

■関連部品(オプション)

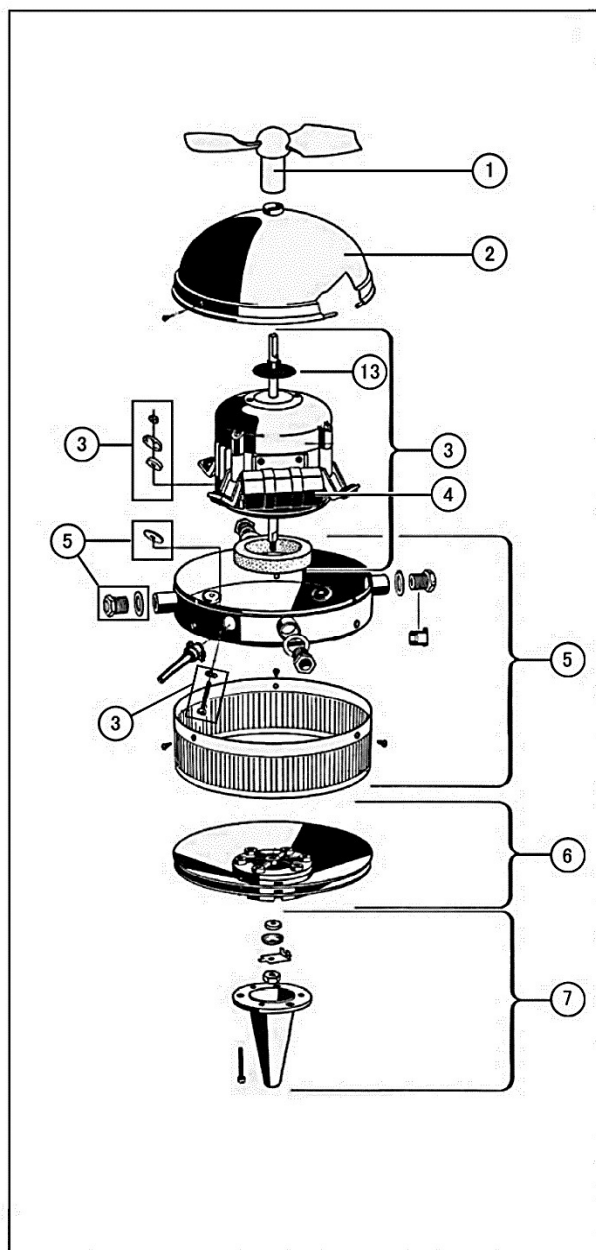
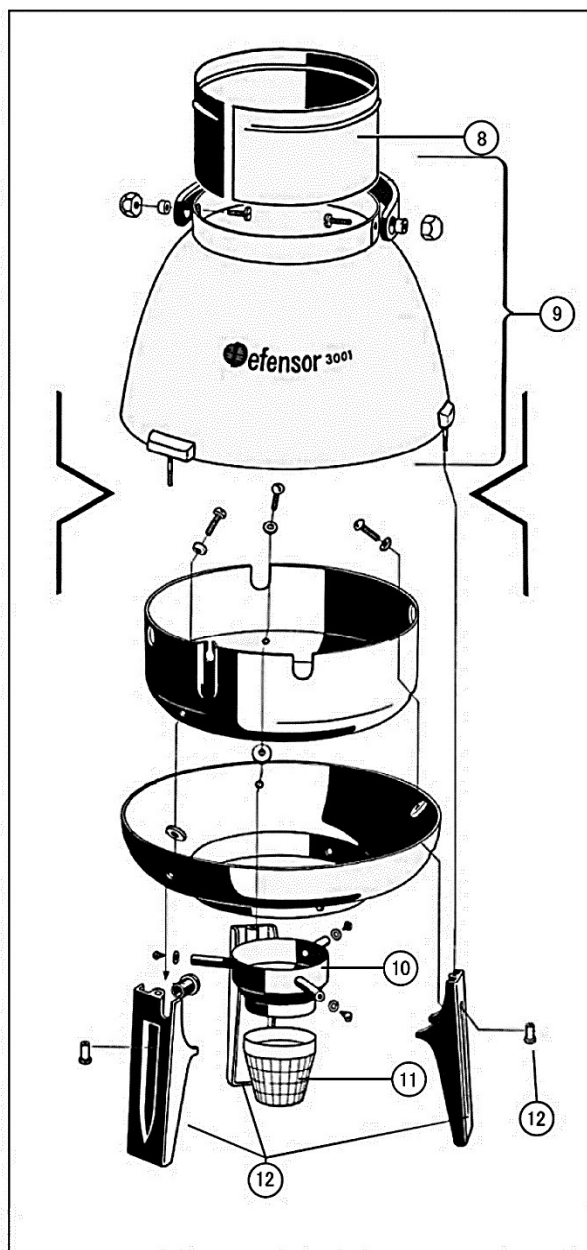
用途、目的に応じて以下のオプションをお使い下さい。

湿度調節器

室内の湿度を感知し、加湿器を制御します。



■ 部品展開図



部品管理番号	名称
1	2次側ファン
2	モーターカバー
3	モーターセット
4	コンデンサー
5	モーター取付板セット
6	回転盤セット
7	吸水管セット

部品管理番号	名称
8	カラー
9	上部カバーセット
10	ストレーナー取付枠
11	ストレーナー
12	脚セット(ネジ付)
13	モーターカバー受け

加湿器の衛生管理はとても重要です。

管理を怠ると健康被害をもたらす恐れがあります。当社では安心してお使いいただくために専門スタッフによる分解清掃を承っております。お問い合わせは購入先もしくは下記の営業所までお願いいたします。

※建築物衛生法においては、1か月以内毎に1回点検し、必要に応じて清掃することが義務付けられています。

ピーエス工業株式会社

東京	渋谷区富ヶ谷1-1-3	TEL 03-3485-8811
名古屋	昭和区広路通5-9-3	TEL 052-838-5525
大阪	吹田市垂水町3-16-3	TEL 06-6338-7151
福岡	博多区中洲中島町3-10	TEL 092-281-9200
熊本	熊本市中唐人町1	TEL 096-356-2201

ピーエスグループ各社

北海道	北広島市共栄41-3	TEL 011-372-7601
盛岡	盛岡市愛宕町16-5	TEL 019-653-3780
仙台	仙台市青葉区立町20-11	TEL 022-211-5431
長野	長野市若里1-23-11	TEL 026-228-4334

190517 PS